

畜産センター中間評価

総合評価	H23	H24	H25	中間
	A	A+	A-	A

【委員からのコメント】

中期運営計画に基づき、試験研究の推進、広報・情報提供、成果の普及活用促進、内部人材の育成、他機関との連携などが着実に進められており、単年度においては評価の低い項目も見られたものの、質・量の両面において概ね計画目標水準を達成していると認められる。今後とも、生産現場を支え、現場ニーズに即した試験研究の推進と成果の普及、技術指導に努められたい。

ただ、これまでは主に量的な業務評価を中心に自己評価をしているように思われる。量だけでなく、質の向上も自己評価をしていただきたい。特に中期計画も後半を迎えているので、これまでの問題点等の把握と整理、それに基づく質の向上への取り組み指針をご検討いただき、本中期計画の完了評価に備えていただきたい。

また過労で職員が疲弊しないよう人材の確保や研究体制の強化も含め、適切な業務運営を心がけてもらいたい。さらに、県において本評価結果がどのように活用されたのか、評価システム自体の有効性の評価、改善も図っていく必要がある。

i) 県民に対して提供する業務

1) 試験研究(完了課題)

年度	研究課題	H23	H24	H25	中間
H23	1)単為発生卵が算出する妊娠認識物質を利用した受胎率向上技術の確立	B			A
	2)水田における環境負荷を考慮した資源循環型飼料用稲多収生産技術の開発	A			
	3)酪農における飼料用米の効果的な給与法の確立	A			
	4)和牛子牛の制限哺乳が母牛受胎率及び子牛の発育に及ぼす影響	B			
	5)飼育用米の給与が黒毛和種の肥育成績に及ぼす影響	A			
H24	1)メラトニン濃度を指標とした卵巢機能解析法の確立		A		
	2)家畜ふんたい肥の即効性肥料効果の解明		A		
	3)畜舎排水処理水における硝酸態窒素等の除去技術及び脱色技術の検討		B		
H25	1)肥料価値を高める家畜ふん堆肥化技術の開発			A	
	2)納豆乾燥粉末のプロバイオティクス効果に関する研究			B	
	3)デュロック種の生産性向上のための肢蹄評価確立試験			A	

【委員からのコメント】

中期運営計画の研究重点推進事項に掲げた技術開発目標(堆肥の機能解明と高品質化や速効性肥料効果の解明、飼料作物新品種の育成、高品質化豚肉生産の向上のための系統豚の造成など)については、概ね計画を達成されている。

しかし、実用化技術として課題の残る研究もあり、試験研究の設定にあたっては、実用化・普及が可能な状況を見据えた十分な議論を重ねた上で研究に着手されることをお願いしたい。

評価項目	H23	H24	H25	中間
2) 技術相談	A	A	A	A
3) 施設使用	A	A	A	A
4) 技術指導	A	A	AA	A
5) 成果の普及活用促進	A	A	A	A
6) 外部人材育成	A	A	A	A
7) 優良遺伝資源の生産と供給	B	A	A	A
8) 広報・情報提供	A	A	A	A
9) 知的財産権の取得・活用	B	A	A	A
10) 教育活動への協力や地域観光資源としての施設利用	A	A	A	A
ii) 業務の質的向上, 効率化				
1) 全体マネジメント	A	A	A	A
2) 他機関との連携	A	A	A	A
3) 外部資金の獲得方針	A	A	A	A
4) 県民ニーズの把握	A	A	A	A
5) 人材育成	A	A	A	A